

長野電鉄活性化協議会

平成21年5月1日設置
平成22年3月16日連携計画策定



概要

平成22年3月に策定した、「長野電鉄屋代線総合連携計画」及び「長野電鉄屋代線活性化・再生総合事業計画」に基づき、基本方針として掲げた『①日常生活行動で抵抗なく使えるサービス水準の向上②屋代線を活用した人の動きの創出③地域が一体となった鉄道を支える仕組みづくり』を実現し、屋代線の活性化・再生を図ることを目的として実証実験等推進施策を実施するもの。

また、各種事業の本格導入に向けて効果や問題点を把握すること、及び基本方針の『④新たな運営形態への移行の検討』をする際の指標とするために効果検証を行い、事業の評価をあわせて実施する。

平成22年度事業概要

○運行頻度の増加、最終便の繰り下げ

- ・屋代線の運行頻度の水準を向上し利便性を高めるため、現有施設で対応可能な、一日当たり3往復増便する(昼間時間帯)。
- ・列車不足及び乗務員不足により運行頻度の増加を十分に行えない分は、沿線にバスを運行して補う。
- ・最終便の時刻を繰り下げること、現行の運行時間帯を拡大する。

○その他の利用促進事業

パークアンドライド駐車場、サイクルアンドライド駐輪場の整備、昼間時のサイクルトレイン、持参人式通勤定期の販売、意見箱の設置、駅及び列車内の案内表示の充実、時刻表の配布、長野駅・善光寺等を起点とした屋代線を利用する周遊割引キップ、イベント列車の運行、イベントの実施、自動車利用観光客向けのパークアンドライドと割引キップ、観光軸の形成に向けた上田・軽井沢・小布施との一体的PR、割引回数券の販売、地域ボランティア活動の促進、学校教育等における活用促進、インターネット等を活用した屋代線情報の提供・広報活動、住民意識啓発のためのシンポジウム開催、パンフレット配布を実施する。

○実証実験等推進施策の評価・分析

- ・実証実験等推進施策の実施結果を評価・分析し、平成23年度以降の事業内容を再検討し、必要に応じて総合連携計画の見直しを行う。

○新たな運営形態への移行の検討

- ・実証実験等推進施策の評価・分析結果、費用便益調査及び市民への意向調査の結果を踏まえ、屋代線の新たな運営スキームの検討を行う。

